

情報科学部 カリキュラム・ポリシー

■ 情報科学科

本学科は、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた人材育成の目標を達成するため、以下のとおり「教育課程編成・実施の方針」を定める。

- (1) 多分野にわたる教養を身につけることを主眼に、現代社会の理解に必要な人文・社会科学を中心とした基礎的な知識を学ぶ『大学共通科目』を配置する。また、情報科学に繋がる基本的な数理的思考を学び、高学年に向けた学びの主体性を育む『基礎数理』科目を配置する。
- (2) 社会基盤の構築力に必要な不可欠なコンピュータサイエンスに関わる知識を、社会システムと関連づけながら学び、さらに情報基盤の構築力に必要なクラウドや IoT 等の先端的情報基盤技術を学ぶ『社会・情報ネットワーク系』科目を配置する。
- (3) 先端情報システムの提案及び設計できる素養を身につけるため、人間中心設計を意識しながら、プログラミングやアルゴリズムに関する知識・技能を修得し、さらに XR 等の先端的なインターフェイスを含む情報システムの開発方法を学ぶ『人間・情報システム系』科目を配置する。
- (4) 情報サービスを自ら構築できる力を身につけるため、人間の認知や行動に関わる内容も含むデータを科学的に分析する方法論と、データを保有する情報システムに AI を応用する方法論を学ぶ『データ活用・AI 応用系』科目を配置する。
- (5) 協働的实践力を身につけるため、他者と協働して実際の社会的問題から課題を洗い出し、『学科専門教育科目』で学んだ情報科学の知識・技能を課題に適用して解決を試みる『社会実装プロジェクト』科目を配置する。
- (6) 情報技術をより良く活用することができる倫理的判断力と社会的責任感を涵養するため、個人と社会のウェルビーイングの向上に資する情報技術と人間の役割を学び、『社会実装プロジェクト』科目に伴走する形でその学びを深める『情報倫理と社会』科目を配置する。
- (7) 『社会・情報ネットワーク系』『人間・情報システム系』『データ活用・AI 応用系』科目いずれかに関わる専門知識と、『社会実装プロジェクト』科目で培った課題発見・解決に取り組む実践力を活かし、各指導教員の助言の下、倫理性と社

会性を踏まえた社会実装を意識した課題の解決を試み、新たな価値創出を志向する『卒業研究』を展開する。